

# 事前評価調書

I 事業概要																																																															
事業名	交通安全対策事業（交差点改良事業）																																																														
地区名	一般県道 <small>おいだいらこうたせん</small> 生平幸田線																																																														
事業箇所	おかざきしいけがねちょう 岡崎市池金町地内																																																														
事業のあらまし	<p>当該箇所は、一般県道 <small>おいだいらこうたせん</small> 生平幸田線の曲線部に、市道保母池金線 <small>ほぼいけがねせん</small> が接続する信号のない三叉路の変則交差点であり、平面線形が悪いことから交通事故発生危険性が高い構造となっている。</p> <p>以上を踏まえ、交通死傷事故の削減を主な目的として、当該交差点をラウンドアバウト化する交差点改良に着手するものである。</p>																																																														
事業目標	<p><b>【達成（主要）目標】</b></p> <p>① 交通死傷事故の削減</p> <p><b>【副次目標】</b></p> <p>—</p>																																																														
事業費	事業費		内訳																																																												
	0.45 億円		■工事費 0.25 億円、■用補費 0.15 億円、■その他 0.05 億円																																																												
事業期間	採択予定年度	平成 30 年度	着工予定年度	平成 30 年度	完成予定年度	平成 34 年度																																																									
事業内容	交差点改良 延長 L=0.25km、幅員 W=270m																																																														
II 評価																																																															
① 事業の必要性	1) 必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般県道生平幸田線の曲線部に、市道保母池金線が接続する信号のない三叉路の変則交差点となっており、主従関係がわかりにくく平面線形が悪いことから、交通事故発生危険性が高い構造となっているため、安全な交差点形状へ改良する必要がある。</li> </ul>																																																													
	判定	A	<p>A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の課題から事業の必要性があると判断されるため。</li> </ul>																																																												
② 事業の実効性	1) 事業計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>←</td> <td></td> <td>→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>区画線工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td>防護柵工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費(億円)</td> <td colspan="4"></td> <td>0.45</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p>						H30	H31	H32	H33	H34	工種区分	調査・設計	←		→			用地補償			←	→		工事						擁壁工				←	→	舗装工				←	→	区画線工				←	→		防護柵工				←	→	事業費(億円)						0.45
		H30	H31	H32	H33	H34																																																									
工種区分	調査・設計	←		→																																																											
	用地補償			←	→																																																										
	工事																																																														
	擁壁工				←	→																																																									
	舗装工				←	→																																																									
	区画線工				←	→																																																									
	防護柵工				←	→																																																									
事業費(億円)						0.45																																																									
判定	A	<p>A： 事業計画の実効性が期待できる。</p> <p>B： 事業計画の実効性が期待できない。</p> <p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な事業執行環境が整っており、事業の実効性が期待できるため。</li> </ul>																																																													
III 対応方針																																																															
事業実施が妥当である。	<p>事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。</p> <p>事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。</p>																																																														

#### IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

・事業実施前後の交通状況の変化。